



おだやかな秋晴れの心地よい日々が続き、紅葉も各地で見頃を迎えているようです。しかし、市では新型インフルエンザの第二の流行波が押し寄せ、各学校ではその対応に苦慮されていることと存じます。早く流行がおさまリ、落ち着いた学校生活を送れることを願うばかりです。

さて、11月からは後半の研修シーズンに入ります。教育研究所も実りある研究・研修を進められるように努めていきたいと思ひます。今月もよろしくお願ひします。

【11月の予定】

市教育研究所主催行事 市関係行事 学校関係行事 その他

日	月	火	水	木	金	土
1 理科展・展示 (10/31.11/1) 南河内体育館 オレンジリボン キャンペーン (~11/30)	2 児童表彰(吉田西小)10:10~ S&U石橋小要請訪問	3 文化の日 	4 薬師寺小要請訪問 児童表彰(緑小)9:25~ ALT授業研究会(祇園小)14:00~	5 市教育委員学校訪問(薬師寺小),市長出前講座(南河二中)13:20~,市教職2・3年目研修②(国分寺東小)13:30~	6 児童表彰(吉田東小)10:15~ 下地区教務主任研修会13:30野木町公民館	7 古山小創立40周年記念式典
8 	9 児童表彰(国分寺東小)10:10~	10 児童表彰(石橋北小)10:10~,就学時健康診断(国分寺小),小中一貫プロジェクト委員会15:30,市学力向上(中国語⑥)	11 児童表彰(薬師寺小)13:15~ S&U祇園小	12 市教育委員学校訪問(国分寺小) 市就学指導委員会②14:30~ 就学時健康診断(石橋北小)	13 就学時健康診断(国分寺西小) 小社会科副読本活用研究会⑤15:00~	14
15	16 市道徳教育研修会②国分寺小,吉田西小要請訪問,下地区支援内容検討会②13:30~下都賀庁舎	17 教育委員会,小教研B部会,市支援員研修会,15:00~,市学力向上研究(中国語⑥)	18 	19 市教育委員学校訪問(石橋北小),就学時健康診断(祇園小),市学習意欲③,下地区教育相談連絡会10:30学悠	20 児童表彰(古山小)10:30~ 市情報教育研究推進委員会③16:00~	21
22 	23 勤労感謝の日	24 	25 市定例校長会 9:00 臨海自然教室①(薬師寺小,緑小,国小,国西小,国東小)	26 児童表彰(祇園小)10:30~,市体力向上研究③15:00~	27 児童表彰(細谷小)9:40~ S&U祇園小	28
29	30 下地区各教科等個人権教育研修会14:00~壬生町中央公民館	12/1 臨海自然教室②(吉田東小,吉田西小,祇園小,石橋小,古山小)	2 臨海自然教室③(細谷小,石橋北小)	3	4	

※10月28日現在の予定です。詳細は文書等でご確認ください。

教育研究所にお立ち寄りください！

下野市教育研究所はどこにあるかご存じでしょうか？「組織はあっても場所はないのでは？」と思われる方もいらっしゃると思います。実は石橋庁舎の3階第4会議室です。よく会議が行われる303会議室の隣の小さい部屋です。入り口にはこの「KEYAKI」が掲げられています。

相談員の佐藤先生、人見先生や情報教育アドバイザーの島村さんが委員会で勤務されるとききの勤務場所であったり、教育相談の場所であったりします。各種研究会で使用することもあります。書架には研究図書や研究誌、教育雑誌等も整備されています。各校に配布したビデオ、DVDもここに保管しています。

教育研究所は先生方のための部屋でもありますので、いつでも開放しています。

石橋庁舎にお越しの際は、どうぞご自由に入室いただき、中をご覧ください。

(電気が点いている場合は、学校教育課職員にお問い合わせください。)



スキルアップ:ワンポイント講座・その27

情報セキュリティ

1・正直者の世界

悪人は存在せず、正直者ばかり。たのまれるとイヤということはなくもくもくと依頼に答えてくれる世界。そんな世界が存在すると思いますか。無いと思っている人が多いでしょう。

しかし、そんな環境は存在します。



どこに？ご想像通り！機械の世界です。コンピュータやインターネットは、「性善説」に基づいて作られています。(実際問題として、「性善説」でないと煩雑になり作れません。)では、今起こっている「個人情報」などの流失の問題はなぜおこるのでしょうか。いろいろな問題が新聞をにぎわしていますが、一つだけいえることがあります。それは、どの問題でも人間が介在しているということです。たとえば、個人情報の売買では社員が持ち出したものが多く、共有ソフトによるものは、共有ソフトを正しく設定していないためや、個人が勝手に導入したために重要情報が流失しました。ウイルスによる流失はあまり多くありませんが、ウイルス対策ソフトを導入しないためや、ソフトの更新がないために感染する場合はほとんどです。

「ぜんぶ人間が悪い！情報は守れない。」「人間って・・・。」と思いがちですが、逆に考えればここを解決すれば、「情報流失に携わる問題のほとんどを解決できる」のも事実です。

今回からシリーズで、「情報を守るための必要性や方法・ルール作りをどうすればいいのか」、をお伝えしていきます。(6回程度を予定しています。)